

# 防虫ネットによるピーマンのタバコガ防除

農業研究部

## 1. 研究の背景

県内の夏秋ピーマン産地では、タバコガ類幼虫による果実の食害、果実内部への侵入による商品への混入、さらには軟腐病菌の伝播による流通・消費段階での軟化腐敗果の発生が問題となっている。

そこで、1.8m 間口ハウスでの防虫ネットを利用したタバコガ類対策の検討を行った。

## 2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・サイド部分に空間を確保すること、ネットをつなぎ合わせることで管理作業の作業性を損なわない (図 1.2)。
- ・防虫ネットでミニハウス全体を被覆することで、タバコガ類の侵入を防ぐ (図 3)。
- ・ネット展開にかかる時間は約 4.5 時間/10a、コストは約 14 万円/10a (ほ場面積)。

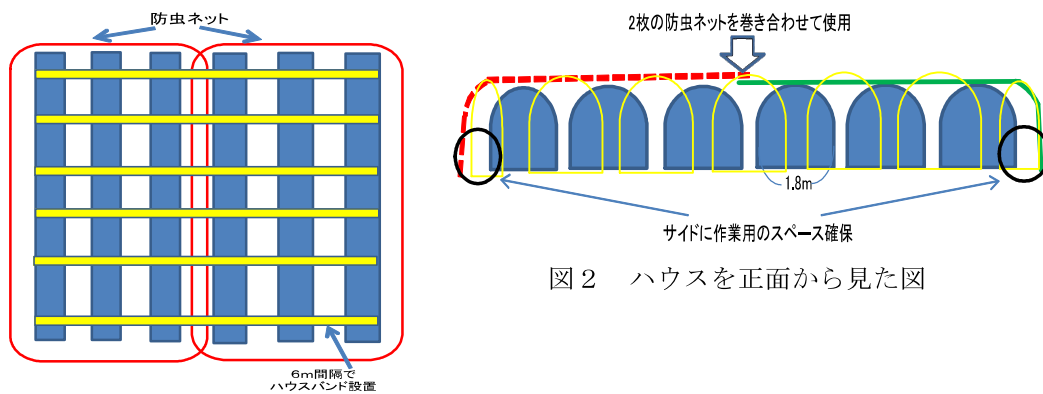


図 1 ハウスを真上から見た図

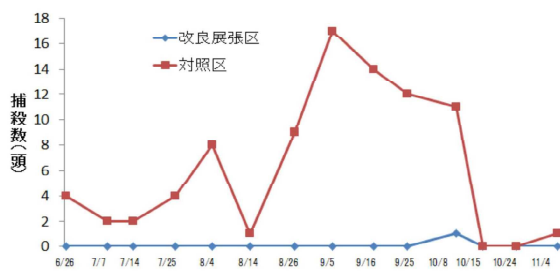


図 3 ハウス内タバコガ類成虫の誘殺数 (平成 26 年) 現地での展張状況 (平成 26 年)  
(フェロモントラップによる)

## 3. 期待される効果

- ・タバコガ類の被害軽減による商品果収量の向上、農家所得の向上
- ・軟化腐敗果の減少による市場評価の向上

## 4. 担当機関連絡先

農業研究部 トマト・ピーマンチーム

TEL : 0974-28-2081

住所 : 豊後大野市三重町赤嶺 2328-8